

平成 26 年 3 月

日本農学会加盟学協会 御中

日本農学会事務局

日本農学賞受賞者講演会の周知および参加について

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 26 年度（第 85 回）日本農学大会のポスターが完成いたしましたので、同封いたします。

つきましては、ご多用中とは存じますが、掲示板にお貼りいただくなど、関係者の皆様への周知にお力添えをいただければ幸甚に存じます。

また、この機会にあわせ、大会会場にて平成 25 年度 10 月に開催した日本農学会シンポジウム「農学イノベーションー新しいビジネスモデルと食・農・環境における技術革新ー」の成果概要書を販売いたします。

本書のご購入についてもご検討いただきたくお願い申し上げます。

謹白

記

1. 第 85 回日本農学大会ポスター
2. 平成 26 年度（第 85 回）日本農学大会プログラム
3. 図書案内

以上

## 平成 26 年度(第 85 回)日本農学大会プログラム(案)

日 時:平成 26 年 4 月 5 日(土)午前 10 時より

会 場:東京大学山上会館(本郷キャンパス内 文京区本郷 7-3-1)

プログラム:

10:00~10:40 日本農学賞授与式、読売農学賞授与式  
写真撮影

10:40~12:10 受賞者講演(午前の部)

10:40 「木材の生物材料特性に基づく耐久性の向上に関する研究」

京都大学名誉教授

今村 祐嗣

11:10 「ダイズの生理生態と環境ストレス応答機構に基づく多収理論の構築と実証」

東北大学農学研究科 教授

国分 牧衛

11:40 「鳥類における発生工学技術の開発と遺伝子操作・遺伝資源保存への展開に関する先駆的研究」

(独)農業生物資源研究所 上級研究員

内藤 充

12:10~13:10 ----- 昼食休憩 -----

13:10~15:10 受賞者講演(午後の部)

13:10 「ファイトプラズマの統合生物学的研究とその臨床展開」

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

難波 成任

13:40 「ステロイドホルモンの中樞作用に関する神経内分泌学的研究」

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

西原 眞杉

14:10 「環境保全型の高選択的生物制御物質に関する先駆的研究」

大阪府立大学名誉教授

林 英雄

14:40 「水田のイネ科雑草の簡易識別法と発生生態に関する研究」

秋田県立大学生物資源科学部 教授

森田 弘彦

15:10~15:30 ----- 休憩 -----

15:30~16:50 パネルディスカッション「農学の課題と展望 2014」

パネリスト

日本農学賞・読売農学賞受賞者

コメンテーター

読売新聞社編集局科学部長

長谷川 聖治

日本農学会会長

三輪 睿太郎

副会長

會田 勝美

コーディネーター

日本農学会副会長

西澤 直子

17:00~19:00 受賞祝賀会(会場:山上会館地下食堂)

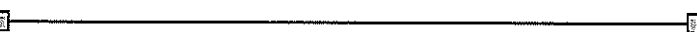
2014 年 4 月 5 日刊行

## 『シリーズ 21 世紀の農学』

### 「農学イノベーション-新しいビジネスモデルと食・農・環境における技術革新-」

日本農学会編

出版：養賢堂



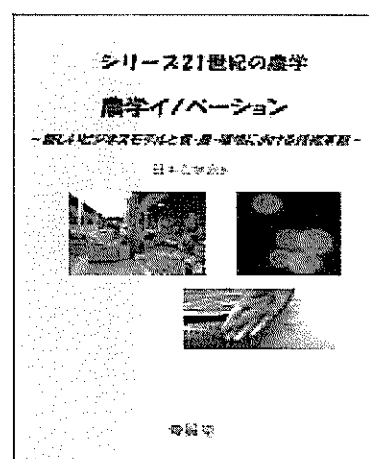
日本農業は大きな転機を迎えて、従来の水田農業を中心とした主穀生産は、農学主導で現在まで技術革新がすすめられ、食料の安定供給を担う重要な役割を果たしています。

一方、流通部門が主導するビジネスモデルが、主穀以外の様々な農林水産物を中心にいわゆる「6次産業」として成功を納め、地域農業を再生しつつあります。農学が今後の日本農業の発展にどのように貢献できるかを考えると、「6次産業」への貢献が重要になる。ところが、現状では分子生物学のような基礎研究、病理学や土壌肥料学のような生産環境研究、農業機械・農業工学のような工学部門を含めて考えても、その大半が主穀生産部門に注がれているのが現状です。

シンポジウムでは、6次産業として成功しているビジネスモデルの紹介、主穀以外の様々な農林水産物のビジネスモデルと技術革新の話題、農学が主穀以外の部門で貢献するための発展方向を打ち出しました。

本書は、その成果の概要を詳細にわかりやすくまとめ、充実した内容の 1 冊となっています。

研究者はもとより、学生や一般の方々など関心のある方にもお奨めします。



◆体裁 A5 判 約 200 ページ  
◆定価 2,000 円 (税込)

#### ■主な収載項目■

- 第 1 章 「6次産業のビジネスモデルとフードチェーン」 (千葉大学 斎藤 修)
- 第 2 章 「果物の六次産業化のビジネスモデルを考える」 (農研機構 果樹研究所 小川 一紀)
- 第 3 章 「『忘れられた家畜』ヤギ製品の需要喚起とその市場性」 (日本獣医生命科学大学 小澤 壮行)
- 第 4 章 「ストップ・清酒離れ 酒造りの技術を活かす」 (月桂冠株式会社 秦 洋二)
- 第 5 章 「エビの陸上養殖最新動向」 (株式会社アイ・エム・ティー 野原 節雄)
- 第 6 章 「農畜産バイオマスのエネルギー利用」 (農研機構・中央農業総合研究センター 薬師堂 謙一)
- 第 7 章 「林産学ルネッサンス」 (東京大学 鮫島 正浩)
- 第 8 章 「ポスト成長時代の農業イノベーション-農業経済学は技術革新をどう捉えてきたか-」 (名古屋大学 生源寺 眞一)